学校番号	305

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究 （人文ステップアップ）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	山川出版社『詳説　世界史』						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究では、2 年次に学習した歴史総合で身につけた歴史的な見方・考え方をもとに、世界のあらゆる地域の成り立ちや歴史的変遷を探究していくことになります。探究活動では、何の文脈もなく知識を断片的に覚えるのではなく、様々な歴史的な出来事に関して「縦」と「横」のつながりを意識して学習していくことになります。その際に大切になるのは各事象に対して「なぜ？」という視点を持つことです。各事象に関する、因果関係や他事象との関連性に着目しながら、自ら「なぜ？」を考察していくことができるような資質の育成を意識してください。そして、世界史探究で学んだ内容を現代の諸課題の解決に結び付けていくことができる力をつけるように意識していきましょう。

授業では、探究活動に対して主体的に取り組む態度が大事になってきます。個人活動だけでなく、グループ学習に対して主体的に取り組むことで、歴史的な思考力が身についていきます。課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返 ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。 ・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができている。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うことができている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	文明の成立と古代文明の特質	・文明の誕生 ・古代オリエント世界とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・東南北アメリカ文明	a:世界各地で発生した文明の特徴について理解している。 b:・文明が生まれるために必要だった条件を考察して、説明することができている。 ・オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を考察している。 ・南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴と、アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について考察している。 ・殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解します。春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序についての違いを考察します。 ・中南米にさまざまな先住民文明が栄えたことを理解し、そこでの支配の在り方を考察している。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	

	中央ユーラシアと東アジア世界	・中央ユーラシア――草原とオアシスの世界 ・秦・漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成	a:・遊牧国家の興亡がユーラシア大陸の東西にもたらした変動を理解している。 ・漢の支配体制の変遷を理解している。 b:統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を考察している。 ・遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱の関係について、この時代に仏教や道教が力を持つようになった背景や、中国の情勢が朝鮮や日本に与えた影響に着目して考察している。 c:・唐代初期の社会の特徴、制度や文化が近隣諸国に与えた影響について考え、今日の東アジア情勢と結びつけて考えようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート グループワーク 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	南アジア世界と東南アジア世界の展開	・仏教の成立と南アジアの統一国家 ・インド古典文化とヒンドゥー教の定着 ・東南アジア世界の形成と展開	a:・仏教やジャイナ教などの宗教について理解している。 ・8～10 世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解している。 b:・南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展、クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を考察している。また、ヒンドゥー教が南アジア社会に根づいた背景を考察している。 ・東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察している。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	

	西アジアと地中海周辺の国家形	・イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展	a:・アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築ことができた背景や要因を理解している。 ・パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解している。 ・ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解している。 b:・ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を考察している。 ・ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで考察している。 c:・キリスト教の成立の経緯と、ローマ帝国によるキリスト教への対応をスライドにまとめて、わかりやすく伝えようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 発表 定期考査	ワーク シート 振り返りシート グループワーク
2学期	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	・アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の形成	a:・アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解している。 ・イスラーム文化の成立の経緯を理解している。 b:・ビザンツ帝国の繁栄と、ローマ教会とフランク王国の関係を、比較しながら考察している。 c:・前単元であるキリスト教社会と西ヨーロッパに特有の封建社会の仕組みについて関連性を見つけ、他者と意見を交流しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート グループワーク
	イスラーム教の伝播と西ア	・イスラーム教の諸地域への伝播 ・西アジアの動向	a:・イスラーム化が中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアにもたらした変化と、それに経緯について理解している。 b:・十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察している。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	

	ヨーロッパ世界の変容と展開	・西ヨーロッパの封建社会とその展開 ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	a:・ローマ＝カトリック教会が普遍的な権威を持つにいたった背景を理解している。 ・封建社会が解体に向かった背景、教皇権の衰退と王権の伸張の関係について理解している。 b:・十字軍の遠征の経緯を理解し、それが社会に与えた影響を考察している。 ・百年戦争によるイギリスとフランスの変容、スペインで国王による中央集権化が早く進んだの原因、神聖ローマ帝国で中央集権が進まなかった要因を考察している。 c:・中世西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的役割を自分自身の言葉でレポートにまとめようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート
	東アジア世界の展開とモンゴル	・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国	a:・10 世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解している。 ・モンゴル帝国が成立した背景と、その支配が東アジアにおよぼした影響について理解している。 b:・モンゴル帝国で作成された史料を時系列に並べて、ヨーロッパ世界とのつながりを考察している。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	
3学期	大交易・大交流の時代	・アジア交易世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	a:・16 世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解している。 ・ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解している。 b:・明朝初期の国内統治の特徴と、朝貢体制が諸地域にもたらした影響を考察している。 ・16 世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察している。 c:・世界の一体化に関する自分なりの考察をレポートにまとめて、表現しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート レポート

	アジアの諸帝国の繁栄	・オスマン帝国とサファヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域	a:・オスマン帝国の勢力拡大の経緯と、その統治が当時の人々に与えた影響を理解している。 b:・サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を考察している。 ・ムガル帝国の基礎が築かれた経緯と、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を考察している。 ・清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで考察している。 c:・アジア諸国での民族の独立・統合の変遷と現在の国家観の関連をまとめ、発表することができている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート レポート グループワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度